

令和6年度特別展

成城の歩み100年

2024年10月26日(土) → 12月16日(月)

【関連イベント】

- ① 成城探訪 北コース 11月6日(水)・16日(土)
南コース 11月20日(水)・12月1日(日)

時間：各回10時～13時 成城学園前駅集合・解散

- ② ミニシンポジウム

「近現代のまちづくりと住民 ―学園都市・成城を事例に―」 11月10日(日)

時間：14時～16時 会場：郷土資料館集会室

登壇者：石神隆（法政大学名誉教授）・荒垣恒明（成城学園教育研究所）

小林宏志（世田谷トラストまちづくり）・金谷匡高（文化財係学芸員）

※①②とも10月28日から「せたがやコール」で事前申込制（先着順・参加費500円）

開館時間：9時～16時30分

12月15・16日は世田谷のポロ市終了時刻まで開館します。

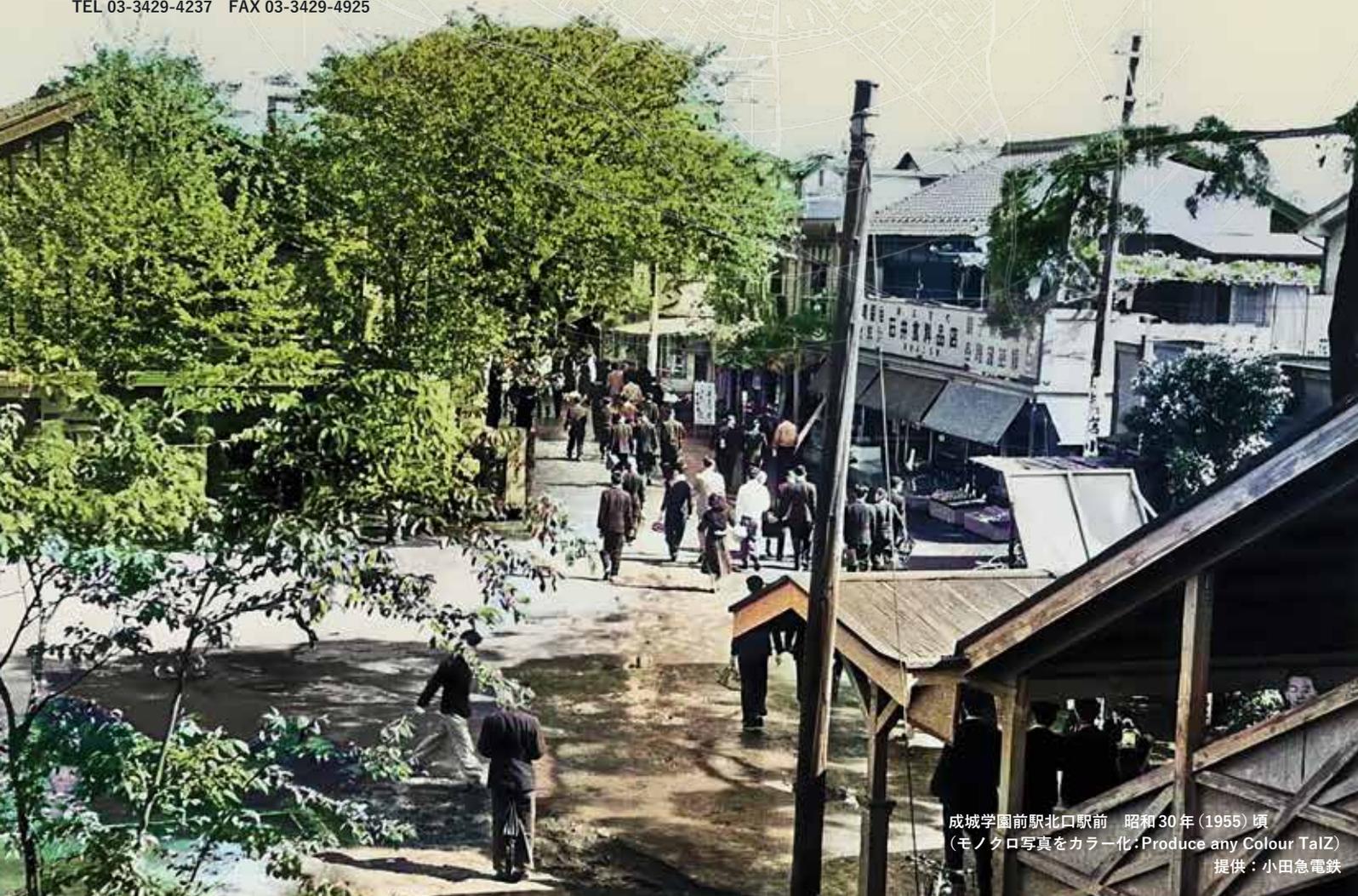
休館日：毎週月曜日（12月16日は開館）、11月23日(祝)

交通：東急世田谷線・バスとも「上町」下車徒歩5分

入館料：無料

世田谷区立郷土資料館

〒154-0017 世田谷区世田谷1-29-18
TEL 03-3429-4237 FAX 03-3429-4925



成城学園前駅北口駅前 昭和30年(1955)頃
(モノクロ写真をカラー化: Produce any Colour TalZ)
提供: 小田急電鉄

成城の歩み100年

会期：2024年10月26日(土)～12月16日(日)

今から約100年前の大正14年(1925)、成城第二中学校(現成城学園)は、総合学園を目指すため牛込区(現新宿区)から現在地に移転し、その一歩を踏み出しました。移転先は、雑木林や畑が広がる土地でしたが、地主などの協力を得て、成城学園の教師や保護者自らが区画整理やまちづくりに携わった点で、他の地域の開発とは大きく異なります。

また、昭和初期には小田原急行(現小田急電鉄)の開通や、東宝の前身である写真化学研究所の建設に伴い、多くの文化人等が移住しました。その後、郊外住宅地へと発展し、昭和46年(1971)に地名は「成城」となりました。

本展では、成城学園移転の前後から現在に至るまでの、成城100年の歴史をご紹介します。

【関連イベント】

① 成城探訪

北コース 11月6日(土)・16日(土)

南コース 11月20日(水)・12月1日(日)

時間：各回10時～13時 成城学園前駅集合・解散

定員：各回15名(雨天中止)

② ミニシンポジウム

「近現代のまちづくりと住民

—学園都市・成城を事例に—」11月10日(日)

時間：14時～16時 会場：郷土資料館集会室

登壇者：石神隆(法政大学名誉教授)・荒垣恒明(成城学園教育研究所)・小林宏志(世田谷トラストまちづくり)・金谷匡高(文化財係学芸員)

定員50名

①②とも 対象：区内在住・在学・在勤者 参加費：500円

申込方法：せたがやコール(先着順)

受付期間：10月28日(日)～11月4日(日)

詳細は区のおしらせ10月15日号、および郷土資料館ホームページをご覧ください。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/02423/9013.html>



世田谷デジタルミュージアム
<https://setagayadigitalmuseum.jp/>



世田谷 区立 郷土資料館

〒154-0017 世田谷区世田谷1-29-18
TEL 03-3429-4237 FAX 03-3429-4925



第1章 成城学園とまちづくり



【上】朝日住宅地及成城学園都市分譲地借地案内図
縮尺1万2千分の1 昭和初期

【左】喜多見土地区画整理地イロハ区画別分譲地及貸地平面図
縮尺6千分の1 昭和初期
2点とも成城学園教育研究所蔵

第2章 小田急線の開通

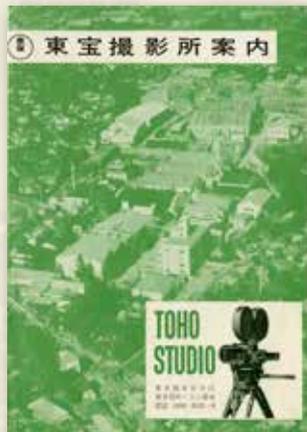


【上】沿線案内 小田急電車
昭和11年(1936)6月
発行：小田原急行鉄道株式会社



【右】小田急線開通当時の成城学園前駅ホーム 昭和初期
成城学園教育研究所蔵

第3章 世田谷と東宝撮影所



【左】東宝撮影所案内
昭和30年代 発行：東宝株式会社
寺島映画資料文庫蔵

【下】東宝撮影所 昭和36年(1961)

